

ホームステイなどを通じて 日本の文化を満喫！
オーストラリア・グリーンリーブス使節団が来白



本市の姉妹都市であるオーストラリアハーストビル市の中高校生9人と引率者2人の計11人が、本市を訪れました。一行は、日豪文化交流協会が行っている国際交流事業グリーンリーブス使節団の一員として7月1日から7月7日の日程で訪問。ホームステイしながら、市内見学や中学校への体験入学などを通じて、日本の文化を体験しました。ヤン・コリンくん(15)は、「友だちがたくさんできました。また、ホストファミリーと一緒に過ごした時間はぼくの人生で最高の経験！ また白石に来ます」と流暢な日本語で話してくれました。平成6年の姉妹都市締結以来、相互交流を続けてきましたが、平成21年は新型インフルエンザの流行で中止。平成23年と24年度は東日本大震災の影響でハーストビルからの訪問は中止となり、今回は3年ぶりの本市への訪問となりました。一方、本市の中学生10人と引率者2人の計12人は、7月24日から8月3日の日程でハーストビル市を訪問。ホームステイしながら、現地の中学生などと交流する予定です。



1・2 碧水園では若柳梅京さんの優雅な日本舞踊を見学した後、足袋に履き替えて着物の試着。着物姿で茶室でのお茶体験に挑戦！白石茶道会の徳力宗琴さんなど同会の会員の指導を受け、お茶をたてるなど日本の伝統文化を楽しんだ 3 弥治郎くけし村では新山吉紀さんの指導を受けながら、こけしの絵付けにも挑戦！高さ18cmのミズキの木地に、思い思いの模様を描いた。

手作り甲冑を一堂に展示
壽丸屋敷で「手作り甲冑展」



▲「子どもが甲冑が好きで見に来ました」と話す親子。手作り甲冑を見て、着て、大喜び！

6月26日～30日まで、厚紙を使った手作り甲冑を制作している甲冑工房「片倉塾」の講師と塾生による「手作り甲冑展」が壽丸屋敷で開催されました。展示品は平成24年度の塾生25人が平成24年7月～10カ月間、月2回のペースで手作りしたもの。伊達政宗や片倉小十郎など戦国武将の甲冑25領を展示。訪れた人たちは、厚紙で作られたとは思えない、本物さながらの手作り甲冑に見入っていました。

ふるさとの魅力再発見 私たちが守り伝え繋いでいこう！
碧水園で県内の11青年会議所の会員が一堂に会し「第43回宮城ブロック大会」



1_白石温麺や白石和紙にまつわるクイズに片倉組の2人が挑戦した「すまいる大使中間試験」。見事全問正解で会場が沸いた 2_パニラさんが活弁絵巻「国士無双」を披露。「もう一度みたい」との声が多く、来場者を楽しませた

6月30日、県内11青年会議所の会員など約230人が一堂に会し「第43回宮城ブロック大会」(日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会主催)が碧水園で行われました。メインフォーラムのテーマは、「ふるさとの魅力再発見」。開会式で同協議会の前田顕正会長は、「青年会議所は、それぞれの活動エリアを『もっと元気にしたい』『もっと活性化したい』という思いのもと、地域活性化事業や青少年育成事業などに取り組んでいます。歴史や文化、風土の魅力を子どもたちに伝えていくため、私たち青年会議所のメンバー、そして市民の皆さんが、共に学びを深めていくことが大切ではないでしょうか」とあいさつしました。

フォーラムの第一部では、日本の歴史や文化の魅力を国内外に広く発信している白駒妃登美さんが「歴史が教える日本人の素晴らしさ」と題して講演。白駒さんは、さまざまな人たちの生き方を例に日本に受け継がれる精神などにふれ、「私たちが互いを思いやり、

譲り合い、与え合って生きて、自分にできることを精一杯行こう。日常生活を大切に、心を込めて毎日を丁寧に生きる。そこには素敵な生き方があります。先人たちが大切に育んできた、日本人らしい素敵な生き方の中に、私たちの遺伝子をONにする秘密があるのではないのでしょうか」と話しました。

第2部では、すまいる大使の山崎パニラさんの活弁絵巻の披露や、パニラさんとよさこい走乱白石城による「白石よござりす」の披露、パニラさんと白石戦国武将隊奥州片倉組の片倉重長さん、真田幸村さんと、風間市長のトークショーが行われました。

トークショーでは、パニラさん出題の温麺や和紙などにまつわる「すまいる大使中間試験」に片倉組の2人が挑戦。2人が正解するたびに、抽選で来場者に温麺などがプレゼントされるなど、白石の魅力を楽しみながら知ることができるトークショーに会場が沸きました。

黒澤樹くんが碧水園能楽堂でプロの能楽師と夢の共演
能・狂言鑑賞会「船弁慶」

6月22日、能・狂言鑑賞会「船弁慶」(白石市伝統芸能振興会主催)が碧水園能楽堂で開催されました。この日は、鑑賞に先立ち観世流シテ方の小島英明さんが、この日披露される仕舞や狂言、能の見どころを分かりやすく解説。訪れた人たちは、見どころの説明があった場面であなづいたり、ほほえんだりするなど、楽しみながら観賞していました。「船弁慶」で源義経役を演じたのは、福岡小4年の黒澤樹くん。源義経役を見事に演じ、会場を沸かせました。黒澤くんは昨年開催された能「橋弁慶」にも牛若丸役で出演。「二度目の出演を果たし、上手に演じることができ、夢に一歩近づけた気がします」と話してくれました。



▲碧水園「子ども能楽教室」に通う黒澤くん。小学1年生から小島先生の指導を受け、2度目の大舞台出演を果たした。(写真提供：駒井荘介さん)